

## 「第1回小石原川ダム環境保全対策検討委員会」議事要旨

日 時：平成 20年7月16日（水） 13:00～15:30

場 所：小石原川ダム建設所 会議室

出席者：（委 員）古賀委員長、荒井委員、飯田委員、林委員、松井委員、真鍋委員、森本委員、山根委員（五十音順） 8名  
（事務局）13名（報道機関）1社

### 【審議内容等】

1. 設立の趣意、規約について  
設立の趣意、規約について事務局より説明がなされ了解した。
2. 委員長の選出について
  - 1) 委員長に古賀憲一委員（佐賀大学教授）を選出した。
  - 2) 規約第5条3項の「委員長があらかじめ指名する委員」は、次回委員長が提案する。
3. 委員会の公開方法、部会の設置について
  - 1) 公開方法については、資料6の「委員会終了後に委員他による記者会見を行う」という部分を「委員会終了後に記者会見を行う」に修正し、その他は資料6のとおりとすることで了解した。
  - 2) 部会について事務局よりクマタカ検討部会を設置する案が提案され、林委員を部会長として設置することを了解した。
4. 事業の進捗状況及びH20年度の予定について  
事業の進捗状況及びH20年度の予定について事務局より説明がなされた。
5. 小石原川ダムの環境の現状について  
小石原川ダム建設事業等において実施された環境影響評価の内容及び環境影響評価以降に実施された環境調査の内容について事務局より説明がなされた。  
また、その内容を踏まえ、以下のとおり意見を述べた。
  - 1) コキクガシラコウモリの保全対策に関する仮排水路や横坑等、現地に残すものを明らかにすること。
  - 2) 水没するムク、エノキ等の大木に着生する植物の調査について検討すること。
  - 3) 水質の総窒素について、増加傾向がみられるので、内容を分析すること。
6. 環境保全の基本方針について  
環境保全対策及びモニタリング調査計画の枠組みについて事務局より説明がなされ、審議の結果、以下のとおり意見を述べた。
  - 1) モニタリング調査計画の基本方針については、委員会として了解する。なお、モニタリング調査計画の詳細内容については、以下の指摘も踏まえ、今後検討していくことで了解した。
  - 2) 昆虫については、オオムラサキ、ゲンジボタル等地域の特徴を踏まえ、ある程度種を決めて、保全対策を検討すること。
  - 3) 保全対策については新たな知見を踏まえて、より効果的に検討すること。
  - 4) 植物の移植については、関係委員の指導・助言を踏まえて検討すること。
  - 5) 環境学習会では施工業者も含めて動植物の取り扱いを含め意識を高めるよう今後とも実施すること。工事関係者に対する動植物のハンドブック等の作成を検討すること。

- 6) 保全対策の検討にあたっては、生物相を豊かにする観点も踏まえること。
- 7) 最新の状況を反映した植生図を作成し、保全対策の検討に役立てること。
- 8) 魚類の保全対策を検討するうえで、堰等の状況を調査すること。
- 9) モニタリング調査においては、重要な種だけでなく、一般的な種についても注意すること。

7. 審議内容の確認

本日（平成20年7月16日）の審議結果を本議事要旨に基づいて確認した。

以 上